

これは、当研究会により作成された仮訳です。この仮訳は、公的なものでも承認されたものでもありません。この仮訳については、当研究会が一切の責任を負担します。この仮訳は、英語によるスコープ2 ガイダンスを読み或は検討するときの単に参考資料としてのみ作成されたものです。

“ This is a tentative Japanese translation prepared by our workshop. This tentative translation is in no way official or authorized one. Our workshop is solely responsible for this tentative translation. This tentative translation is intended solely for a reference material for when you will read or study Scope 2 Guidance in English.”

温室効果ガス（GHG）スコープ2 研究会

2018年2月14日作成版

## GHG プロトコル・スコープ2 ガイダンス（GHG Protocol Scope 2 Guidance）

### 目次（Table of Contents）

1. イントロダクション(Introduction)
2. 事業目的（Business Goals）
3. 算定・報告原則（Accounting and Reporting Principles）
4. スコープ2 算定手法（Scope 2 Accounting Methods）
5. スコープ2 排出量の特定及びスコープ2 境界の設定（identifying Scope 2 Emissions and Setting the Scope 2 Boundary）
6. 排出量の計算（Calculating Emissions）
7. 算定・報告の要求事項（Accounting and Reporting Requirements）
8. 証書の特徴及び政策背景についての推奨される報告（Recommended Reporting on Instrument Features and Policy Context）
9. 削減目標の設定及び排出量の経時的追跡（Setting Reduction Targets and Tracking Emissions Over Time）

### 背景に関する記述（BACKGROUND READING）

10. エネルギー属性証明書及び訴求権における重要概念及び背景（Key Concepts and Background in Energy Attribute Certificates and Claims）
11. 事業者はどのようにしてマーケット基準手法により電力供給転換を推進することが出来るか（How Companies Can Drive Electricity Supply Change with the Market-Based

Method)

付録 (APPENDICES)

- A. 蒸気、温熱及び冷熱の算定 (Accounting for Steam, Heat, and Cooling)
- B. バリューチェーンを通じてのエネルギー関連排出量の算定 (Accounting for Energy-Related Emissions Throughout the Value Chain)

略語 (Abbreviations)

用語集 (Glossary)

参考文献 (References)

謝辞 (Recognitions)

## 詳細目次 (Detailed Table of Contents)

- 1. イントロダクション(Introduction)**
  - 1.1 GHG プロトコル
  - 1.2 コーポレートスタンダードのスコープ2排出量に対するアプローチ
  - 1.3 スコープ2算定及び報告についての主な疑問
  - 1.4 このガイダンスの目的
  - 1.5 ガイダンスの概要
  - 1.6 誰がこのガイダンスを使うのが望ましいか？
  - 1.7 私はどのようにこのガイダンスを使うのが望ましいか？
  - 1.8 このガイダンスはどのように開発されたか？
  - 1.9 コーポレートスタンダードからの変更
  - 1.10 GHG プロトコルとの関係
  - 1.11 このガイダンスが取り扱っていないのは何か？
  
- 2. 事業目的 (Business Goals)**
  - 2.1 スコープ2ガイダンスの事業目標
  - 2.2 電力の購入及び消費による排出量に伴うリスク及び機会の特定及び理解
  - 2.3 GHG 削減の機会の特定、削減目標の設定、及び実績の追跡
  - 2.4 GHG 管理に関するエネルギー供給業者及びパートナーの参加
  - 2.5 透明な公的報告を通じてのステークホルダーへの情報及び企業レピュテーションの強化
  
- 3. 算定・報告原則 (Accounting and Reporting Principles)**
  4. スコープ2算定手法 (Scope 2 Accounting Methods)
    - 4.1 スコープ2の算定の方式
    - 4.2 排出レート的方式
    - 4.3 各手法の結果の決定上の価値
  
  5. スコープ2排出量の特定及びスコープ2境界の設定 (identifying Scope 2 Emissions and Setting the Scope 2 Boundary)
    - 5.1 組織境界

- 5.2 事業境界
- 5.3 スコープ2の定義
- 5.4 電力製造/供給手法によるスコープ2の報告の区別
- 5.5 スコープ2における二重計上の回避
- 5.6 所有するエネルギー製造資産（スコープ1）と異なる事業のグリッド供給エネルギー消費（スコープ2）間の二重計上の回避

## **6. 排出量の計算 (Calculating Emissions)**

- 6.1 スコープ2の排出源を特定する
- 6.2 事業についてマーケット基準手法が適用されるか否かを決定する
- 6.3 活動データを収集する
- 6.4 供給シナリオ及び証明書売買を特定する
- 6.5 各手法について排出係数を選択する
- 6.6 電力消費の各ユニットに排出係数を組合せる
- 6.7 排出量を計算する
- 6.8 コーポレート（企業の全社）レベルにGHG排出量を集計する
- 6.9 オプション：削減貢献量（回避される排出量）を計算し、かつ別に報告する
- 6.10 ロケーション基準排出係数
- 6.11 マーケット基準排出係数データ
- 6.12 バイオ燃料排出量の取扱い

## **7. 算定・報告の要求事項 (Accounting and Reporting Requirements)**

- 7.1 スコープ2において要求される情報
- 7.2 推奨される開示
- 7.3 選択できる情報
- 7.4 二元報告 (dual reporting)
- 7.5 スコープ2品質基準の追加的ガイダンス

## **8. 証書の特徴及び政策背景についての推奨される報告 (Recommended Reporting on Instrument Features and Policy Context)**

- 8.1 証書の特徴の開示
- 8.2 自主的購入と規制政策の関係に関する報告

## **9. 削減目標の設定及び排出量の経時的追跡 (Setting Reduction Targets and Tracking Emissions Over Time)**

- 9.1 基準年の設定

- 9.2 基準年排出量の再計算
- 9.3 GHG 目標の設定
- 9.4 エネルギー目標
  
- 10. **エネルギー属性証明書及び訴求権における重要概念及び背景 (Key Concepts and Background in Energy Attribute Certificates and Claims)**
  - 10.1 エネルギー属性追跡のイントロダクション
  - 10.2 エネルギー属性証明書の定義
  - 10.3 証明書の利用
  - 10.4 供給業者の開示
  - 10.5 特定のエネルギーの供給又は売買についての、供給者割当
  - 10.6 租税/課徴金免除の追跡
  - 10.7 自主的消費者制度 (Voluntary consumer programs)
  - 10.8 法領域の政策が自主的制度の役割及び効果に影響を与える方法 (How jurisdictional policies affect the role and impact of voluntary programs)
  
- 11. **事業者はどのようにしてマーケット基準手法により電力供給転換を推進することが出来るか (How Companies Can Drive Electricity Supply Change with the Market-Based Method)**
  - 11.1 エネルギー属性の供給及び需要
  - 11.2 自主的制度の影響とスコープ2算定との関係
  - 11.3 「追加性」(“additionality”)の役割
  - 11.4 事業者はどのようにして更に進むことができるか?

## 付録 (APPENDICES)

- A. 蒸気、温熱及び冷熱の算定 (Accounting for Steam, Heat, and Cooling)
- B. バリューチェーンを通じてのエネルギー関連排出量の算定 (Accounting for Energy-Related Emissions Throughout the Value Chain)